

概要 地域の住民や事業者, その他の関係機関が一体となって, 自動車交通の抑制や平準化を図る。また, 必要に応じて実験的な取組を実施しながら, 安全・快適で効率の良い, 人や環境にやさしい交通体系の実現を目指す。

総合評価

C

市民満足度評価はDと低いが, 平成13及び14年度には, 嵐山交通社会実験を実施しており, さらにその交通社会実験のアンケート調査結果から評価した客観指標評価はAと高いことから, 総合評価をCとする。

この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: A

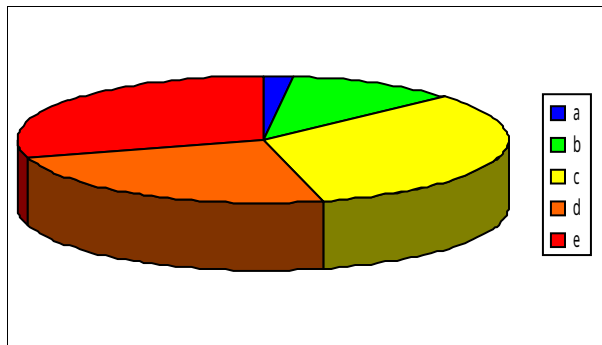
指標名とその前年値, 現在値, 目標値, 達成度

評価

(準)公共交通の利用割合の増加度 (%)	79.7	86.5			B'
(準)トランジットモール交通社会実験の歩行者満足度 (%)		95.6			A'
(準)パーク＆ライド交通社会実験の利用者満足度 (%)		95.4			A'

この施策に関する市民満足度評価

パークアンドライド実験など新しい交通政策は十分に展開されていると思う。



答a: そう思う	6	1.9%
答b: どちらかというと思う	37	11.5%
答c: どちらとも言えない	106	32.8%
答d: どちらかというと思う 思わない	78	24.1%
答e: そう思わない	96	29.7%
有効回答数	323	
満足度評価		D

<参考> この施策実現のための主な事業
事業名

都心地域の交通対策検討調査

新しい公共交通システム調査

京都市交通情報データシステム運用

京都市南部地域の公共交通検討調査

嵐山観光地交通対策